

川重冷熱工業株式会社

滋賀工場 本店 Tel. 077-563-1111 www.khi.co.jp/corp/kte/


平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月6日

上場取引所 東

 上場会社名 川重冷熱工業株式会社
 コード番号 6414 URL <http://www.khi.co.jp/corp/kte>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 能美 伸一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画室長 (氏名) 蝶澤 雅人

TEL 077-563-1111

四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)
(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	12,803	6.7	415	274.2	423	151.2	645	—
28年3月期第3四半期	11,998	4.1	110	8.4	168	71.6	21	△56.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	38.45	—
28年3月期第3四半期	1.28	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	14,337	4,872	34.0	290.40
28年3月期	12,550	4,322	34.4	257.62

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 4,872百万円 28年3月期 4,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	4.4	550	33.5	550	12.8	680	388.8	40.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
注) 詳細は添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	16,830,000 株	28年3月期	16,830,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	51,076 株	28年3月期	50,177 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	16,779,173 株	28年3月期3Q	16,781,078 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済情勢・競合状況や不確定要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。
なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の2ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国経済は、政府及び日銀の各種政策の効果などから雇用環境や企業収益は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済は、中国並びに新興国経済の停滞や、英国のEU離脱、さらに発足したばかりの米国新大統領による新政策など、今後の展開や影響に一層の注意が必要な状況となっています。

当社を取り巻く事業環境は、設備投資の持ち直しの動きに足踏みがみられるものの、吸収冷水機・ボイラの需要は横這いから、やや微増で推移いたしました。

このような事業環境の下、当事業年度における受注高は、前年同期比3億77百万円増加の146億93百万円、売上高は、前年同期比8億5百万円増加の128億3百万円となりました。

事業別には次のとおりです。

空調事業では、受注高は、改修改造工事の受注が好調に推移したことにより、前年同期比1億19百万円増加の96億70百万円となりました。また、売上高は国内向け吸収冷水機並びに付帯工事付物件の増加により、前年同期比5億91百万円増加の85億89百万円となりました。

ボイラ事業では、受注高は、貫流ボイラ並びに改修改造工事等の受注が好調に推移したことにより、前年同期比2億57百万円増加の50億22百万円となりました。また、売上高は改修改造工事の増加により、前年同期比2億13百万円増加の42億14百万円となりました。

利益面では、営業利益は、収益性の良い物件が増加したこと並びに受注損失引当金の戻入等により、前年同期比3億4百万円好転の4億15百万円、経常利益は、前年同期比2億54百万円好転の4億23百万円となりました。四半期純利益は、特別利益として関係会社出資金売却益2億38百万円及び関係会社出資金の売却代金に係る為替差益96百万円を計上したことにより、前年同期比6億23百万円好転の6億45百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は143億37百万円となり、前事業年度末に比べ17億86百万円増加いたしました。主な増加は、短期貸付金及び仕掛品であり、主な減少は、関係会社出資金であります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は94億65百万円となり、前事業年度末に比べ12億36百万円増加いたしました。主な増加は、仕入債務であり、主な減少は、賞与引当金及び受注損失引当金であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は48億72百万円となり、前事業年度末に比べ5億49百万円増加いたしました。この主な要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年11月8日発表の「特別利益の発生並びに業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想から変更ありません。

なお、業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、経済情勢・競合状況や不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,600	5,633
受取手形及び売掛金	6,384,873	6,704,575
仕掛品	1,256,129	2,099,389
原材料及び貯蔵品	432,750	431,796
繰延税金資産	299,848	299,848
短期貸付金	102,341	1,218,562
その他	52,959	301,459
貸倒引当金	△9,767	△2,821
流動資産合計	8,525,736	11,058,445
固定資産		
有形固定資産	2,121,186	2,041,267
無形固定資産	274,613	244,186
投資その他の資産		
関係会社出資金	631,447	-
繰延税金資産	780,786	780,278
その他	224,449	220,836
貸倒引当金	△7,232	△7,178
投資その他の資産合計	1,629,451	993,935
固定資産合計	4,025,250	3,279,389
資産合計	12,550,987	14,337,835
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,916,040	2,241,951
電子記録債務	1,805,410	2,585,293
未払法人税等	154,658	54,415
賞与引当金	346,000	212,000
受注損失引当金	415,844	301,942
製品保証引当金	69,224	85,835
その他	997,677	1,304,077
流動負債合計	5,704,856	6,785,514
固定負債		
退職給付引当金	2,477,468	2,650,240
製品保証引当金	16,400	13,600
環境対策引当金	14,130	9,930
資産除去債務	15,310	5,810
固定負債合計	2,523,308	2,679,580
負債合計	8,228,164	9,465,094

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,460,500	1,460,500
資本剰余金	1,228,500	1,228,500
利益剰余金	1,635,944	2,180,466
自己株式	△22,836	△23,414
株主資本合計	4,302,108	4,846,051
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,714	26,689
評価・換算差額等合計	20,714	26,689
純資産合計	4,322,822	4,872,741
負債純資産合計	12,550,987	14,337,835

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	11,998,676	12,803,698
売上原価	9,102,922	9,424,470
売上総利益	2,895,754	3,379,228
販売費及び一般管理費	2,784,840	2,964,201
営業利益	110,914	415,027
営業外収益		
受取利息	410	452
受取配当金	1,156	1,161
貸倒引当金戻入額	—	7,009
受取保険金	2,705	2,505
環境対策引当金戻入額	57,415	7,680
その他	7,861	4,618
営業外収益合計	69,549	23,428
営業外費用		
支払利息	993	165
固定資産除却損	678	7,841
為替差損	7,539	5,966
その他	2,754	1,296
営業外費用合計	11,966	15,269
経常利益	168,496	423,186
特別利益		
関係会社出資金売却益	—	238,319
為替差益	—	96,694
特別利益合計	—	335,014
特別損失		
関係会社投資損失	121,354	—
特別損失合計	121,354	—
税引前四半期純利益	47,141	758,200
法人税等	25,500	113,000
四半期純利益	21,641	645,200

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。